

松尾夏祭り

8月7日、松尾中グラウンドで松尾夏祭りが行われました。今年は公民館や村おこしグループ夢織会、平家大いちょう太鼓などが協力し、村の補助金なしで行った初めての手作りイベント。会場を訪れた400人は、我が家の梅干コンクールや梅干しの種飛ばしコンテスト、太鼓演奏、アームレスリング大会など多彩な催しを楽しみました。

主催した甲斐春男館長（畑鳥ノ巣）は、「ボランティアと多くの方々の善意により開催できたことに感謝したい。初めての試みで心配していたが、皆さんに楽しんでもらえ地域活性化にもつながった。」とほっとした表情で話していました。



▲参加体験型のイベントが好評だった「松尾夏祭り」。

銘水の郷づくりカヌー教室

8月7日、那須橋の十根川（耳川支流）で銘水の郷づくりカヌー教室が行われました。これは、川や水に親しんで自然の素晴らしさを体感してもらいたいと、銘水の郷づくり推進協議会（古川三鶴亀会長 会員35人）が主催したものです。

教室には、同会員のほか村内の親子19人が参加。インストラクターから操作方法や安全対策などについて講習を受け、実際にカヌーやカヤックに乗って体験しました。参加した親子は、身近にできる川遊びを満喫しながら楽しい一日を過ごしました。



▲カヌーを上手に操りながら川遊びを楽しむ子どもたち。

尾向溪谷まつり

8月15日、尾向地区で第20回尾向溪谷まつりが行われました。メインイベントの釣り大会は、今年、尾向小下の河川敷が災害復旧工事が行われていたため、会場を上流に変更して実施。それでも、子どもから大人まで多くの方が参加して溪流釣りを楽しみました。参加者の中には、県外から腕に自信のある釣り愛好家も訪れ、30cmを越す大物ヤマメを釣り上げていました。

また、夕方から行われた「溪谷の夕べ」では、子ども神楽の披露や花火大会などもあり、地域の方や多くの帰省客で賑わいました。



▲尾前川で釣り大会を楽しむ参加者。

矢立高原まつり

8月20日、大河内地区の矢立高原キャンプ場で第17回矢立高原まつりが行われました。若者グループ「大河内ヤル気会」が毎年主催し、標高1000mの避暑地で楽しむ夏の風物詩となったこのイベント。会場には県内外から420人の方が訪れました。

魚つかみ取り大会や大声大会、ものまねタレント英二さんのショーなど多彩な催しが行われたほか、参加者の最大の楽しみ「椎葉牛のバーベキュー」では、同地区で肥育された1頭分の牛肉200kgに舌鼓を打ちました。また、会場では地元産のハウレンソウやミズナのサラダなども振る舞われ、訪れた方々には「安心して食べれるし、美味しい」と大好評でした。



▲イベントのメイン「椎葉牛のバーベキュー」。